

平成26年度 事業別予算概要

事業名	21700	地籍調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	1	計画的な土地利用をめざして	根拠計画	国土調査事業(地籍調査事業)第6次10箇年計画	市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます ・地籍調査事業を積極的に実施します
	審議			款	2	総務費		分野	1	土地利用		実施計画事業		
担当課	農政部 林務課		内線	項	1	総務管理費		基本施策	1	住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る	H26実施計画額	100,000 千円		
			2235	目	17	地籍調査費		施策	1	総合的な土地利用				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 地籍調査実施地域の森林所有者	どうしたいのか(意図)	・一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。	概要	事業の実施手法(手段)	・調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行うことで、森林整備を円滑に行うと共に境界紛争を防止する。
	対象者数	2,969 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	清見牧ヶ洞(Ⅲ)	換算面積 0.13km ²	計画面積に占める残面積の割合 90.4%					
	国府 今	換算面積 0.27km ²	計画面積に占める残面積の割合 70.0%					
	上宝蔵柱上(Ⅶ)	換算面積 0.44km ²	計画面積に占める残面積の割合 9.0%					
	上宝蔵柱下(Ⅶ)	換算面積 0.06km ²	計画面積に占める残面積の割合 95.0%					
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	地籍調査事業 実施面積	km ²	目標値	6	6	6	6
				実績(見込)	2	1	2	
	算出根拠等		実績	達成率(%)	26	14	30	
	活動指標	国土調査事業 第6次10箇年計画進捗率	km ²	目標値	64	64	64	64
				実績(見込)	6	7	8	
	算出根拠等		第6次10箇年計画面積	達成率(%)	9	10	13	
	成果面	算出根拠等		目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
算出根拠等		達成率(%)						
補足	算出根拠等		目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	高山市総合計画や市長公約において、地籍調査を積極的に推進している。しかし、国、県の予算配分が十分にされず、地域要望に応えられていないことが課題である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・積極的な予算配分を国・県へ要望し、地籍調査の計画的推進を図る。	
次年度の実施方針	維持・改善	森林部を主体として、事業の進捗を図る。
	○ 拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	県に対して財源確保を強く求める必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 24,298	22,685	62,446	175,961
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 8,184	7,641	21,033	59,266
	受益者	実施地域の森林所有者	(B) 2,969	2,969	2,969

5 予算編成(Action2)

事業内容	国土調査法に基づく国土調査 一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し境界の位置と面積を測量。 水源林境界明確化促進事業	要求のポイント	国土調査法に基づく国土調査 県は、平成22年度から3ヶ年の「緊急財政再建期間」が終了したことから、県に大幅な増額要望を働きかけ、地籍調査面積の拡大を図る。	事業実施の課題	国土調査法に基づく国土調査 県は、平成24年度までを「緊急財政再建期間」とし、平成25年度は、前年比1.5倍の予算配当であったが、どの程度戻るかが地籍調査進捗の力ギである。 水源林境界明確化促進事業 保安林の指定同意が、調査対象地の8割以上となること採択条件であるため、調査対象地が限定される。
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		62,446	175,961	113,515	79,489	79,489	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	45,000	132,500	87,500	60,750	60,750		
	その他			0				
	一般財源	17,446	43,461	26,015	18,739	18,739		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	21815	環境共生型住宅建設促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・高山市の約92%を占める木材資源とこれまで培われてきた林業技術を活用し、地元産出の木材の販路拡大を図るために、間伐材、林地残材などの製品化や燃料化に対する助成制度の新設や、地元木材利用の促進制度の充実を実施します。
	種別			款	2	総務費		分野	3	林業		実施計画事業			
担当課	農政部 林務課		内線	項	1	総務管理費	基本施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する	H26実施計画額	千円				
			2236	目	18	環境政策費	施策	1	持続的な生産基盤の整備						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円補助する。 ・H24から、地産外消タイプ(地域材使用量に対し家具等木製品を贈呈する制度)を追加。 ・産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助する。 ・県産直住宅組合への負担金。
対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	匠の家づくり支援事業補助金 74件 22,094千円 産直住宅建設促進事業 1件 250千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	建築棟数	棟	目標値	70	90	117	117
				実績(見込)	63	74	117	
	算出根拠等		実績棟数による		達成率(%)	90	86	100
	成果指標	地域材利用率	%	目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	59	82	92	
	算出根拠等		市産材使用量/地域材使用量		達成率(%)	59	82	92
	成果指標	産直住宅建設数(木質部材贈呈)	棟	目標値	6	2	2	2
				実績(見込)	1	0	3	
	算出根拠等		実績棟数による		達成率(%)	17	0	150
	算出根拠等				目標値			
	算出根拠等				実績(見込)			
算出根拠等				達成率(%)				
算出根拠等				目標値				
算出根拠等				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・申請件数が増加しており、担当職員の負担が大きいため、事務の効率化に引き続き取り組む必要がある。 ・市産材利用を促進するために、関係各所への当制度の効果的PRを推進する必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・当制度の効果的なPRについて検討し、実施する。	
次年度の実施方針	維持・改善	
	○ 拡大	・事業者ヒアリングの中で、内装木質化などに対する補助を求める声があがっており、一層市産材の利用促進する観点から、制度の改善を引き続き検討する。
	縮小	
	○ 維持・改善	・補助制度の実施により、市産材の利用拡大がどれくらい図られているかを検証するとともに、更なる需要拡大を図るために、市産材の品質や制度の効果的なPRを図る必要がある。
二次評価	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	20,834	22,544	35,590	36,090
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	223	243	386	392
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域産材を使用した木造住宅建築に対する助成 ・産直住宅建設促進事業者の活動に対する助成 ・県産直住宅組合への負担金	要求のポイント	・市内のみならず市外へも高山市の木造建築物・木製品の品質の高さを広めるため、効果的なPRを促進する。	事業実施の課題	・増大する事務の効率的処理。 ・効果的なPRの展開。
------	--	---------	--	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		35,590	36,090	500	35,590	35,590	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	320	320	0	320	320		
	その他			0				
	一般財源	35,270	35,770	500	35,270	35,270		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53100	林道維持管理費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	款			5	農林水産業費	分野		3	林業	実施計画事業				
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		H26実施計画額	千円		
			2235	目	1	林業振興費	施策	3	林業関連施設の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 森林所有者(市内全域)	どうしたいのか(意図)	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・管理主体である高山市が実施する。
	対象者数	4,482 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・林道修繕 59件 76,143千円 ・林道維持管理委託 6件 2,412千円 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	林道維持管理	箇所	目標値	60	60	60	60
成果指標	算出根拠等	実施箇所	実績(見込)	51	91	75	
			達成率(%)	85	152	125	
成果面	間伐材利用に係る集運材量	m	目標値	10,000	12,000	14,000	16,000
	算出根拠等	搬出量	実績(見込)	13,450	16,105	15,800	
補足			達成率(%)	135	134	113	
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・林道の適正な管理のため、修繕を継続して行う。
--------------------------	-------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・林道調査や町内要望等により必要な修繕を実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	23,384	76,143	77,750	42,550	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	5,217	16,989	17,347	9,494	
	受益者	林家	(B)	4,482	4,482	4,482	4,482

5 予算編成(Action2)

事業内容	林道の維持管理 ・林道施設修繕 ・林道草刈業務	要求のポイント	・市が管理する275路線の林道のうち、林道調査や町内要望等により必要な修繕・管理経費を計上。	事業実施の課題	・林道の適正な維持管理に必要な測量・設計等の知識・技術を有する人材が不足している。
------	-------------------------------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		27,750	42,550	14,800	27,750	27,750	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	27,750	42,550	14,800	27,750	27,750		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53110	林業関係事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策		根拠計画	市長公約	
	種別			款	5	農林水産業費		分野				
担当課	農政部 林務課		内線 2236	項	3	林業費	基本施策	施策		実施計画事業	H26実施計画額	千円
	目	1		林業総務費								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、市内森林所有者及び林業事業者	どうしたいのか(意図)	・林業関係事業を推進するための事務費	概要	事業の実施手法(手段)	・林業関係事業を円滑に推進するうえでの事務経費 職員の旅費、事務及び現場用消耗品 公用車の燃料、リース料 市が参画している林業関係団体の負担金
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・林業関係事務費の支出 旅費及び需用費(消耗品、自動車燃料) 庁用車リース料 各種林業関係団体の負担金						
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	高山市森づくり委員会の開催	回	目標値	5	5	3	3
	実績(見込)			4	3	3	
成果指標	算出根拠等 開催実績		達成率(%)	80	60	100	
	民有林内の間伐実施面積	ha	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績(見込)			1,596	1,748	1,800	
	算出根拠等 施業実績		達成率(%)	80	87	90	
成果面			目標値				
	実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・林業関係団体への負担金の見直し
--------------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・事務の効率化を図り、コスト削減に努めていく。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き事務の効率化の推進と、林業関係団体への負担金額見直しを提言する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,552	2,600	2,648	3,771
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	27	28	29	41
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	林業関係事務経費 ・各種林業関係団体の負担金	要求のポイント	・林業関係事業を推進するための事務費を計上	事業実施の課題	・関係団体への負担金の見直し
------	---------------------------	---------	-----------------------	---------	----------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,648	3,771	1,123	3,598	3,598	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	222	222	0	289	289		
その他			0				
一般財源	2,426	3,549	1,123	3,309	3,309		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53201	市有林管理費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ③ 林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的取り組みます。 ・林業と建設業の協同事業実施を支援します。
	款			5	農林水産業費	分野		3	林業	実施計画事業			
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	H26実施計画額	千円		
			2235	目	2	林業振興費	施策	1	持続可能な生産基盤の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市、市民	どうしたいのか(意図)	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐や枝打ち等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術のレベルアップを図る。
対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林管理事業 48,444千円 ・利用間伐・作業道開設等 17件 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	市有林間伐等施業実施面積	ha	目標値	200	50	26	72
				実績(見込)	187	36	35	
	算出根拠等 事業実施面積			達成率(%)	94	72	135	
	成果指標	市有林施業管理面積	ha	目標値	2,353	2,353	2,353	2,353
				実績(見込)	1,237	1,273	1,308	
	算出根拠等 人工林面積			達成率(%)	53	54	56	
	活動指標	市有林利用間伐面積	ha	目標値	30	30	10	50
				実績(見込)	22	25	8	
	算出根拠等 事業実施面積			達成率(%)	73	83	80	
	活動指標	市有林作業道開設延長	m	目標値	1,000	1,000	1,000	1,600
				実績(見込)	5,136	728	1,003	
	算出根拠等 事業実施延長			達成率(%)	514	73	100	
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	・建設業者等の林業参入に必要な知識・技術が向上している。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、市有林周辺の森林所有者等と連携し、市有林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 ・市有林の事業を通して、伐採等の施業技術者は育ちつつあるが、必要な施業のプランニング、進捗管理等のできる人材は不足している。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討する。 ・市有林を事業体等に経営委託する方式等の導入について検討するための調査を実施する。 ・森林の適正な管理に必要な人材を市有林の事業を通して、引き続き育成する。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林の適正な管理方法について検討するため、モデル的な取組として、市有林の管理・利用業務を林業事業体等へ委託する。業務に必要な費用は事業体により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、財源確保、プランニング、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林の効果的な管理のあり方について検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	153,495	48,444	38,550	41,602
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,645	522	419	452
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林管理業務委託 ・市有林整備工事 	要求のポイント	市有林の適正な管理・利用を進める上で必要な管理・調査経費を計上。	事業実施の課題	・測量や設計、施業プランの作成等市有林の適正な管理・利用に必要な知識・技術を有する人材が不足している。
------	--	---------	----------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		38,550	41,602	3,052	42,250	42,250	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	27,663	21,352	△ 6,311	19,383	19,383		
	その他	3,900	12,740	8,840	12,740	12,740		
	一般財源	6,987	7,510	523	10,127	10,127		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53209	緑資源幹線林道賦課金元利補給金	予算	会計	1	一般会計	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
種別				款	5	農林水産業費		分野	3				
担当課	農政部長務課		内線	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	H26実施計画額	千円		
			2234	目	2	林業振興費	施策	3	林業関連施設の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者(宮・高山、瓜田・中呂瀬、双六・瀬戸区間)	どうしたいのか(意図)	旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金を支払う。	概要	事業の実施手法(手段)	高山市の受益者負担金を支出する。 受益者組合への補助金を交付する。
	対象者数	641人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	高山市受益者負担金 3,838千円 受益者組合への補助金 16,621千円						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
達成率(%)							
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
		達成率(%)					

補足 旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金を毎年計画的に返済するもの。

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	林業者だけでなく広く一般の方々にも大規模林道を活用していただけるよう維持管理の向上に努める必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	21,941	20,459	19,450	15,146
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	34,229	31,917	30,343	23,629
	受益者	森林所有者(宮・高山、瓜田・中呂瀬、双六・瀬戸区間)	(B)	641	641	641

5 予算編成(Action2)

事業内容	旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払い及び受益者組合に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題
------	--	---------	---------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	19,450	15,146	△ 4,304	15,146	15,146	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	19,450	15,146	△ 4,304	15,146	15,146		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53218	緑の保全事業補助金	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を創ります ◎環境保全に取り組みます。・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きている全ての人が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。
種別			款	5	農林水産費		分野	3		林業		
担当課	農政部 林務課		項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する。	H26実施計画額	55,000 千円		
		内線	目	2	林業振興費	施策	1	持続可能な生産基盤の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者・森林組合・林業事業者 等	どうしたいのか(意図)	・必要な森林施業を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・間伐などの国・県で行っている造林補助事業に対する助成 ・国、県で補助対象とならない規模の小さい森林施業に対する助成 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に対する助成
	対象者数	4,482 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業補助(搬出間伐、伐捨間伐) A=229.67ha ・除伐A=34.94ha ・間伐作業道開設事業補助 L=12,387m ・軽作業道開設事業 L=867m ・未利用資源活用促進事業 V=6,052m³ ・間伐材利用促進事業 V=10,051m³ ・小規模森林整備事業 7件 A=2.12ha 						
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	間伐・除伐・枝打ち等(ha)	ha	目標値	782	500	497	400
	活動指標	算出根拠等 実績		実績(見込)	399	266	180	
	活動指標	作業道開設	m	達成率(%)	51	53	36	
	活動指標	算出根拠等 実績		目標値	24,667	34,300	12,100	21,000
	活動指標	算出根拠等 実績		実績(見込)	17,728	13,254	13,600	
	活動指標	間伐材利用促進事業 集運材積量 未利用資源活用促進事業	m ³	達成率(%)	72	39	112	
	活動指標	算出根拠等 実績		目標値	10,000	12,000	15,800	21,000
	活動指標	算出根拠等 実績		実績(見込)	18,619	16,105	21,000	
活動指標	算出根拠等 実績		達成率(%)	186	134	133		
活動指標	算出根拠等 実績		目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	
活動指標	算出根拠等 実績		実績(見込)	1,597	1,748	1,800		
活動指標	算出根拠等 実績		達成率(%)	80	87	90		
活動指標	算出根拠等 実績		目標値					
活動指標	算出根拠等 実績		実績(見込)					
活動指標	算出根拠等 実績		達成率(%)					
活動指標	算出根拠等 実績		目標値					
活動指標	算出根拠等 実績		実績(見込)					
活動指標	算出根拠等 実績		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・国、県の造林補助事業の対象は、森林経営計画の策定が前提となる。大規模な林班単位の計画となり、小規模林業事業者や小規模森林所有者の経営意欲の喚起を図る独自の補助制度が課題であり、従来の補助制度を活かし、より効果的な補助制度を検討し、森林整備を促進する。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・間伐促進事業等の普及拡大図り、小規模事業者等の経営意欲の喚起を促す。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大	緑の保全事業を継続することで、林業を支える人や、地域づくりを図り、経営意欲の喚起など積極的な支援を進める。
	縮小	
	廃止検討	
	○維持・改善 拡大	
二次評価	縮小	・小規模森林所有者等が、国・県の造林補助事業を実施できるよう共同での森林経営計画策定の促進について検討する必要がある。
二次評価	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	59,881	54,910	55,000	69,110
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	13,360	12,251	12,271	15,419
	受益者	森林所有者・森林組合・林業事業者等	(B)	4,482	4,482	4,482

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○間伐事業、間伐作業道開設事業 森林環境保全直接支援事業(国・県造林補助事業)に対する助成 ○間伐材利用促進事業、未利用資源活用促進事業により間伐材の集運に対する助成 間伐後の林地残材をバイオマスエネルギー等として利用。 ○間伐促進事業、小規模森林整備事業 県造林補助制度に対応できない個人及び林業事業者等が、5ha未満の間伐作業を行う場合や0.5ha未満の小規模な森林整備に対する助成 	要求のポイント	◎利用間伐を積極的に進め、災害に強い森林づくり、地域材及び間伐材利用を進める。	事業実施の課題	平成25年度より森林経営計画策定団地が、森林環境保全直接支援事業(国・県造林補助事業)の対象者になった。 森林経営計画は、効率的な森林経営を進め、森林施業の団地化や境界明確化を促進するものである。このため高山市は、積極的に地域説明会等に参加し集約化・団地化を進める。 また、個人等小規模森林所有者は、間伐促進事業、小規模森林整備事業を普及し、林業経営意欲を喚起する。
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	55,000	69,110	14,110	55,000	55,000	・積算内容を精査 ・個人事業者が行う間伐材の集運に対する助成制度を新設	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金		700	700	600	600		
県支出金		450	450	500	500		
その他	4,383		△ 4,383	4,380	4,380		
一般財源	50,617	67,960	17,343	49,520	49,520		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53220	森林被害対策事業費	予 算	会計	1	一般会計	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 ◎環境保全に取り組みます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全は今を生きるすべての人々を取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境保全につながる取り組みを支援します。
	款			5	農林水産業費	分野		3	林業				
担当課	農政部林務課		内線	2236	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する	H26実施計画額	千円	
				目	2	林業振興費	施策	4	森林の保全				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民、森林所有者	どうしたいのか(意図)	・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の予防・駆除を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	・予防事業…新たなナラ枯れの拡大を防ぐため、殺菌剤樹幹注入の予防措置を実施する。 ・駆除事業…カシノナガキクイムシの被害木を薬剤くん蒸し処理する。 ・調査事業…カシノナガキクイムシ・クマ・ニホンジカによる森林被害調査の実施
対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	予防事業については荘川・国府地域で、48本殺菌剤樹幹注入を実施した。 駆除事業については荘川・国府・上宝地区で87本、伐倒くん蒸等処理をした。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	予防処理本数	本	目標値	90	100	160	130
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	90	48	125	
	達成率(%)		100	48	78		
成果面	駆除処理本数	本	目標値	207	200	150	80
	算出根拠等		実績(見込)	92	87	53	
成果面	達成率(%)		44	44	35		
	算出根拠等		目標値				
成果面	実績(見込)						
	達成率(%)						
補足	算出根拠等		目標値				
	実績(見込)						
補足	達成率(%)						
	算出根拠等		目標値				
補足	実績(見込)						
	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・国・県の補助制度を利用して、森林被害調査を実施する必要がある。
--------------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・森林被害調査結果により、予防・駆除(全木)を引き続き行っていく必要がある。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・継続的に事業の実施を行うことは勿論のこと、先端地域の被害調査を徹底して行い、それに基づき予防・駆除事業を行っていく必要がある。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市外からの被害拡大の防止を図るため、県や近隣市村と連携した対策についても検討する必要がある。 ・市の財政負担の軽減を図るため、県の森林環境税や国・県の他の補助制度などの予算措置及び制度拡充について、国・県に働きかけを行っていく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 2,580	2,968	4,000	4,631
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 28	32	43	50
	受益者 市民・森林所有者	(B) 93,312	92,861	92,365	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・予防事業…新たなナラ枯れの拡大を防ぐため、薬剤注入の予防措置を実施する。 ・駆除事業…カシノナガキクイムシの被害木を薬剤くん蒸し処理する。 ・市内一円の森林病害虫被害調査を実施し、被害箇所や駆除木を特定する。 ・クマ、ニホンジカによる皮剥ぎ被害等の状況調査を実施する。	要求のポイント	カシノナガキクイムシを対象とした対策 荘川、国府、上宝を中心とした予防・駆除事業の実施	事業実施の課題	平成22年以降クマ・ニホンジカによる森林被害が広がっており、適正な被害対策を施工できるよう現状調査を行う
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,000	4,631	631	4,000	4,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	3,250	4,114	864	3,550	3,550		
一般財源	750	517	△ 233	450	450		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53221	林業改良普及事業補助金	予算	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。・特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	款			5	農林水産業費	分野		3	林業				
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する	H26実施計画額		千円	
			2236	目	2	林業振興費	施策	2	あらたな担い手の確保				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 林業グループ員・行事参加者	どうしたいのか(意図)	・林業グループの自主的な調査・研究活動等を促進し、新たな林業技術の習得や後継者の育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。
	対象者数	150 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	各地域で活動する林業グループ7団体中6団体が、年間を通して11事業を行い、林業グループ員・一般参加合わせて119名の参加となった。						
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動実施回数	回	目標値 実績(見込)	10 8	11 11	10 10	10 10
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	80	100	100	100
	活動参加人数	人	目標値 実績(見込)	150 157	150 119	150 150	150 150
成果面	算出根拠等		達成率(%)	105	79	100	100
			目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値 実績(見込)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	現在、市内各地で7団体が活動しているが、全地域10団体での活動が望ましい、団体活動が出来ない地域の人は、隣接の団体に属して活動するなどして、技術の向上を図る取り組みも必要である。又、活動自体は地域色を出しながらも、どのように後継者育成につなげていくかが課題である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	毎年行われる各団体毎の技術講習やイベントなどに、地域外からの参加を呼びかけ、後継者の育成に繋げていく。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大	各団体の活動を通して一般市民が林業に興味を持たれるよう、常に新たな取り組みを念頭に活動するよう指導していく。又、数組の林業グループ合同のイベント・講習や、団体のない地域の人達を含めた情報交換の場を持つなど、後継者育成に繋げていくよう指導していく。
	○維持・改善 縮小	
二次評価	拡大 縮小 廃止検討	・林業グループの統合などによる合理化や組織強化について検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	500	600	700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,185	5,042	4,667
受益者	林業グループ会員・参加者	(B)	157	119	150

5 予算編成(Action2)

事業内容	・林業グループの自主的な調査・研究活動等を促進し、新たな林業技術の習得や後継者の育成を図る。	要求のポイント	・林業就労者の高齢化に伴う後継者不足及び、林業技術の継承・習得に繋げる ・新規就労希望者や一般市民に林業に関心を持ってもらう	事業実施の課題	・各グループ間や地域間の情報交換が無いため、技術や伝統の伝播が行われにくい。 ・各グループの活動のPR不足のため、新規就労等の担い手育成に繋がりにくい。
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	700	700	0	700	700	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	350	350	0	350	350		
一般財源	350	350	0	350	350		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53242	林道開設事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます 特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	款			5	農林水産業費	分野		3	林業				
担当課	農政部 林務課	内線	2236	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	実施計画事業	大規模林道整備事業	H26実施計画額	千円
				目	2	林業振興費		施策	3				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者(宮・高山区間)	どうしたいのか(意図)	林道(宮・高山線)を早期に完成させる。	概要	事業の実施手法(手段)	開設工事を県が代行業(実施主体は岐阜県)として実施し、そのための負担金を支払う。 (高山市の負担割合は、事業費の5%) 総開設延長 11,150m
	対象者数	254 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	平成23年度より事業開始。山のみちづくり交付金林道事業負担金の支払いを行った。 市負担金 2671千円 平成24年度実績 法面吹付等 A=1,161.2㎡							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	林道開設事業(H23年度より開設事業開始)	m	目標値	200	200	200	600
				実績(見込)	129	204	289	
	成果指標	開設延長	m	目標値	11,150	11,150	11,150	11,150
				実績(見込)	8,463	8,667	9,160	
	算出根拠等	実施延長		達成率(%)	65	102	145	
				算出根拠等	開設済延長/計画全延長	達成率(%)	76	78
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	平成24年度は、昨年度開設した部分の法面吹き付け等を実施。 県の公共林道事業であり県の予算及び猛禽類の生息(オオタカ等の営巣状況)により実施延長は、変化する。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	県の予算に左右される部分大きい。
--------------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	引き続き、県の代行業として実施する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き、県の代行業として実施する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,977	2,671	7,500	13,451
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	11,720	10,516	29,528	52,957
	受益者	森林所有者(宮・高山区間)	(B)	254	254	254

5 予算編成(Action2)

事業内容	開設工事に伴い土地の測量、支障木伐採を行なう 開設工事に伴う負担金を計上。(事業主体は岐阜県。高山市の負担割合は、事業費の5%)	要求のポイント	・用地測量 ・支障木伐採	事業実施の課題	国・県の財政事情により、事業量に変化する。 また、現地には、貴重な猛禽類が生息しており、施工時期、方法に配慮が必要である。
------	---	---------	-----------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	7,500	13,451	5,951	13,600	13,600	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	7,500	13,451	5,951	13,600	13,600		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53255	林道改良事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	にぎわいのあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます ・特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	款			5	農林水産業費	分野		3	林業	実施計画事業				
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する		H26実施計画額	千円		
			2236	目	2	林業振興費	施策	3	林業関連施設の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者(駄吉線受益地域)	どうしたいのか(意図)	森林基幹道(駄吉線)舗装工を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	林道公共事業(国・県補助)を活用し、市が工事を施工する。
	対象者数	145人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	舗装工を実施 L= 738m							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	林道改良事業	m	目標値	0	650	1,050	580
		実績(見込)		0	738	1,118		
	成果指標	算出根拠等 実施延長	m	達成率(%)		114	106	
		林道舗装延長		目標値	12,744	12,744	12,744	12,744
	算出根拠等	舗装済延長/計画全延長		実績(見込)	10,308	11,046	12,164	
		達成率(%)		81	87	95		
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
達成率(%)								
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	地域の森林所有者だけでなく、広く市民が活用しやすいよう安全面等の利便性の向上を図る。また一方でより一層のコストの削減が必要である。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	今後とも、舗装工により利用者の利便性を向上するとともに低コストな事業実施に努め、長期的な視点に立ち維持管理費用の減少に努める。	
次年度の実施方針	○維持・改善	引き続き事業の進捗を図る
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	18,682	18,165	30,160	16,319
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	128,841	125,276	208,000	112,545
	受益者	森林所有者(駄吉線受益地域)	(B)	145	145	145

5 予算編成(Action2)

事業内容	公共林道事業	要求のポイント	朝日町地内の林道駄吉線の舗装工事(平成26年度完了)	事業実施の課題	事業を円滑に進めるために必要な測量や設計などの知識・技術を有する人材が不足している。
------	--------	---------	----------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	30,160	16,319	△ 13,841	16,660	16,660	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	20,000	10,688	△ 9,312	11,000	11,000		
	その他			0				
	一般財源	10,160	5,631	△ 4,529	5,660	5,660		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53256	生活環境保全林管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 ◎環境保全に取り組みます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全は今を生きているすべての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、ハイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境保全につながる取り組みを支援します。
	種別				款	5		農林水産費	分野	3				
担当課	農政部 林務課		内線	項	3	林業費		基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的機能を維持する。	H26実施計画額	千円		
			2235	目	2	林業振興費		施策	4	森林の保全				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	・生活環境保全林を適切に維持管理する。 ・利用者数を増加させるとともに、市民による多様な活用を促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・施設の適正な維持管理を図る。 ・広報等により利用促進に向けた普及啓発を実施する。
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	生活環境保全林管理事業 10,219千円							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	広報等による普及啓発		回	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等 実績			実績(見込)	1	1	1	
				達成率(%)	100	100	100	
活動指標	利用者数		人	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000
	算出根拠等 実績			実績(見込)	109,361	160,395	160,000	
				達成率(%)	68	100	100	
成果面				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等 飛騨農林事務所間伐実績集計			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	H24は生活環境保全林等が入り込みが増加した。H25は広報によるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・引き続き、適正な維持管理を実施する。 ・利用者増に向けた普及啓発を強化する。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・H25は広報及びインターネットによるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。県補助等を積極的に活用し、施設整備をすすめるための魅力を高める。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	広報によるPRのほか、地域団体等と協働し、入り込み増を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	活用されていない保全林については、廃止を含め、あり方を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 14,492	10,171	9,107	9,745
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 154	110	99	106
	受益者	0 (B)	93,822	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市内にある生活環境保全林施設の適正な維持管理を図り、利用促進を図る。	要求のポイント	・施設の適正な維持管理	事業実施の課題	・老朽化する施設の修繕。 ・市民への効率的な広報の実施。
------	-------------------------------------	---------	-------------	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	9,107	9,745	638	9,077	9,077	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	5,000	5,000	0	5,000	5,000		
一般財源	4,107	4,745	638	4,077	4,077		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53280	林業振興関係事務費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策		根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 ・特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
種別				款	5	農林水産業費		分野					
担当課	農政部 林務課	内線		項	3	林業費	基本施策		H26実施計画額	千円			
		2236		目	2	林業振興費	施策						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、市内森林所有者及び林業関係団体	どうしたいのか(意図)	・林業振興に関する事務経費および各種団体負担金を交付する。	概要	事業の実施手法(手段)	・林業振興に関する事務経費及び美しい森林づくり実行委員会へ負担金を交付する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・林業振興関係事務費の支出 旅費及び需用費(消耗品、自動車燃料、自動車修繕) 庁用車リース料 実行委員会の負担金						
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	高山市美しい森づくりの開催	回	目標値	2	2	2	2
	実績(見込)			2	2	2	
成果指標	算出根拠等 開催実績		達成率(%)	100	100	100	
	参加者数	人	目標値	200	200	200	200
	実績(見込)			210	200	200	
	算出根拠等 参加実績		達成率(%)	105	100	100	
成果指標	民有林内の間伐実施面積	ha	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績(見込)			1,596	1,748	1,800	
	算出根拠等 施業実績		達成率(%)	80	87	90	
補足			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・出席する会議等の精査、需用費の縮減
--------------------------	--------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・事務の効率化を図り、コスト縮減に努めていく。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	引き続き事務の効率化を推進する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・負担金支出先の団体の事業について効果を検証する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 742	657	2,740	1,154
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 8	7	30	13
	受益者 市民	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	林業振興関係事務経費	要求のポイント	・林業振興に関する事務を推進するための事務費を計上	事業実施の課題	出席する会議等の精査、需用費の縮減
------	------------	---------	---------------------------	---------	-------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,740	1,154	△ 1,586	740	740	・積算内容を精査 ・木育推進事業(木のおもちゃ導入)は、つどいの広場へ配付することから、民生費に計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	1,000	200	△ 800				
その他			0				
一般財源	1,740	954	△ 786	740	740		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53285	森林整備地域活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます 特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興に積極的に取り組みます。
	款			5	農林水産業費	分野		3	林業				
担当課	農政部 林務課	内線	2236	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林の持つ多面的な機能を維持する	実施計画事業	森林整備地域活動支援補助金	千円	
				目	2	林業振興費	施策	1	持続可能な生産基盤の整備	H26実施計画額			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市と協定を締結している森林所有者、全市民	どうしたいのか(意図)	森林整備の推進のため、森林所有者等による森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路等の整備を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	市長との協定に基づく森林整備のための地域活動(森林経営計画を作成することを前提に森林の現況調査、境界の明確化作業、林内作業路網の改良等)を実施したものに、その実行経費が基準上限額のどちらか低い方の額を交付する。(森林整備地域活動支援交付事業 国・県・市の予算で費用負担)
対象者数		92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	交付額総額 71,984千円 (国費404,914千円、県費20,049千円、市費11,444千円) 締結者数 6団体 積算基礎森林面積 3703.98ha						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	締結者数	ha	目標値	10	6	6	5
成果指標	算出根拠等	市と協定を締結した個人又は団体の数	実績(見込)	10	6	2	
	達成率(%)		100	100	33		
成果指標	算出根拠等	民間有林内の間伐実施面積	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績(見込)		1,596	1,748	1,700		
成果指標	算出根拠等	森林整備計画 年間間伐実施面積指標より	達成率(%)	80	87	85	
	目標値						
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)						
成果指標	算出根拠等		目標値				
	実績(見込)						
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
	目標値						
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)						
補足	算出根拠等		目標値				
	実績(見込)						
補足	算出根拠等		達成率(%)				
補足	森林法改正に伴う新制度により、交付基準が厳格化されるため協定数の減少が見込まれる。						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつけていくことが必要。
--------------------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつけていく。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td><input checked="" type="radio"/>維持・改善</td> <td rowspan="3">新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつける。</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td><input checked="" type="radio"/>維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="radio"/>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつける。		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	(担当課評価に同じ)		<input type="radio"/> 拡大		<input type="radio"/> 縮小		<input type="radio"/> 廃止検討	
担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	新制度の基準に従い、適切に事業を運営し、当事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつける。																
	<input type="radio"/> 拡大																	
	<input type="radio"/> 縮小																	
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	<input type="radio"/> 拡大																	
	<input type="radio"/> 縮小																	
	<input type="radio"/> 廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 70,069	71,984	80,120	60,434
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 751	782	870	656
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 93,312	92,097	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	森林整備を計画的かつ適切に実行するための、森林の調査や境界の明確化、作業路網の改良活動などの地域活動に対して、森林所有者等に支援を行なう制度	要求のポイント	事業実施の課題	事業の成果を森林経営計画の作成及び森林整備に結びつけていくことが必要。
------	--	---------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	80,120	60,434	△ 19,686	60,120	60,120	・積算内容を精査 ・財務部査定のとおり	
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	60,060	45,292	△ 14,768	45,060	45,060		
一般財源	20,060	15,142	△ 4,918	15,060	15,060		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	53300	分収造林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業から新たな森林産業への転換を進めます。 特用林産の振興、森林技術者の確保・育成など総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
	種別			5	農林水産業費	分野		3	林業	実施計画事業				
担当課	農政部 林務課		内線	2235	項	3	林業費	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	H26実施計画額	千円		
				目	3	分収造林費		施策	1	持続可能な生産基盤の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市、土地所有者、市民	どうしたいのか(意図)	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐や枝打ち等の施策を実施する。
	対象者数	92,097 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	間伐面積 28ha						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	分収林間伐等実施面積	ha	目標値	100	65	21	116
成果指標	算出根拠等	年間実施面積	実績(見込)	80	28	24	
			達成率(%)	80	43	114	
成果面	分収林間伐等実施面積	ha	目標値	100	65	21	116
	算出根拠等		実績(見込)	80	28	24	
補足			達成率(%)	80	43	114	
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	旧森林開発公団以外に分収造林地については、新たな国の制度に対応し、森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、分収林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 旧森林開発公団分収造林地については、市管理業務の軽減を図るため、管理手法について検討する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	旧森林開発公団以外に分収造林について、新たな制度に対応するための管理手法を検討する。また、そのための調査を実施する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大 ・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。 ・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。
	○ 維持・改善	縮小 ・旧森林開発公団との分収造林契約の見直しにあたっては、他市の先行事例等を参考にしながら慎重に検討する必要がある。
	○ 維持・改善	拡大 ・旧森林開発公団との分収造林契約の見直しにあたっては、他市の先行事例等を参考にしながら慎重に検討する必要がある。
		縮小 ・旧森林開発公団との分収造林契約の見直しにあたっては、他市の先行事例等を参考にしながら慎重に検討する必要がある。
		廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	16,196	8,463	11,076	25,958
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	174	91	120	282
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	要求のポイント	市が管理する森林について必要な経費を計上する。	事業実施の課題	計画的な施策の実施及び周辺森林と一体となった管理
------	--	---------	-------------------------	---------	--------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	11,076	25,958	14,882	26,076	26,076	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	11,000	25,882	14,882	26,000	26,000		
一般財源	76	76	0	76	76		